

10 研究班の活動内容・反省と今後の活動内容（1学期）

（1）各班の1学期の活動内容・反省

理論班	<p>指導案形式の明示 ・ 指導案の簡略化等，「学習課題」と「学習問題」の確認 授業の視点の明示 自己評価カードの作成 外部講師との交渉</p> <p>早い段階で，指導案形式や授業の視点を明示でき，第1回目の研究授業に役立てることができた。 自己評価カードに関しては，今後も利用を重ねながら修正を行っていきたい。 指導案の形式に関しても，新たな形式でスタートし，完全には馴染んでいない面もあるので，職員の意見を聞きながら改良していきたい。</p>
授業班	<p>同学年の先生に模擬授業をしてもらい，それを参観できたのがよかった。子どものつまづきやすいところやスムーズに行きやすいところ，時間配分などが分かり，参考になった。 全体研修・授業研究での進行など分担して，授業班全員が関わってできたのでよかった。 2回目からは，模擬授業で分かったことをもっと生かしたい。 他学年の先生の授業参観も当初計画していたが，実施できなかったので，2回目からは実施していききたい。 学年での指導案検討ができなかったので，2回目からは実施したい。</p>
資料班	<p>研究授業の記録形式資料の作成 研究授業での年間を通した役割分担 研究授業中の写真・ビデオによる記録 研究授業関係資料の保存（写真・ビデオ・授業記録・指導案） ノートの使い方の形式提示 板書構成について</p>

（2）各班の今後の活動内容（予定）

理論班	<p>「思いや考えを表現する」子どもに関して，『学年（学年部）としての子ども像』を「話す」「聞く」「書く」の3つの立場から，具体的に考えていく。 2学期の指導案検討前までに作成 自己評価カード，指導案形式の改善</p>
授業班	<p>第2回目研究授業の分担 授業をする場所がテーマにあう場所か検討中。 1学期中に班会の日程を決め，8月前半に班会を行う。</p>
資料班	<p>研究授業中の写真・ビデオによる記録 2学期研究授業者の行う（3年算数「わり算」）に関する資料収集の手伝い 声の大きさ表の作成</p>